1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

	2 C77					
事業所番号	2191300025					
法人名	メディカル・ケア・サービス東海株式会社					
事業所名	愛の家グループホームさかほぎ 1	愛の家グループホームさかほぎ 1F				
所在地	岐阜県加茂郡坂祝町酒倉1296-	1				
自己評価作成日	平成23年10月 1日	評価結果市町村受理日	平成24年	2月17日		

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2191300025&SCD=320&PCD=21

【評価機関概要(評価機関記入)】

62 な支援により、安心して暮らせている

(参考項目:28)

評価機関名	特定非営利活動法人 中部社会福祉第三者評価センター				
所在地	岐阜県関市市平賀大知洞566-1				
訪問調査日	平成23年10月22日				

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

☆昨年から臨床美術を応用

毎月1回彩の会ボランティアの方々に来ていただいている。最初に比べると利用者の作品がとても明る い色使いになり、家族も作品をみてとても喜ばれている。展示方法等も工夫している。

☆チームケア

利用者・家族・職員・地域で情報共有し、協力し合い行事など成功できた。

春夏秋冬・季節に合わせ4大行事を計画し、家族・地域の方々にも参加していただけた。 ボランティアの方々にも協力していただくことができ、昨年よりボランティアの方々の定期化が図れた。 昨年に引き続き、地域の行事にも参加でき、地域交流が行えた。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームの体制が新しくなり開設以来職員として現場で活躍していた若いスタッフが9月より副ホーム長として就任しホームの管理を任され、各種委員会を開催し利用者本位のケアに取り組んでいる。ホームは地域のボランティアによる臨床美術も盛んに取り入れ利用者が元気で生活できるように力を入れている、又外出支援に重点を置き利用者の希望に添えるように体制を整えている。

副ホーム長は自らが研修に参加し人材育成に向けて新しい風を吹き込もうと積極的であり意気込みが 感じ取れた。_____

又ベテラン職員も協力的であり若いホーム長を先頭にホームの活性化を図っている。今後のホームに 期待して行きたい。

٧.	V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します							
	項目	取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項目	取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向 を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	O 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない			
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面 がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 〇 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	O 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない			
i8	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている(参考項目:4)	○ 1.大いに増えている 2.少しずつ増えている 3.あまり増えていない 4.全くいない			
9	利用者は、職員が支援することで生き生きした 表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない			
0	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が ○ 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			
1	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な く過ごせている (参考項目:30,31)	2. 利用者の2/3くらいか 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない			
32	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	O 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが						

3. 利用者の1/3くらいが

4. ほとんどいない

自己評価および外部評価結果

作成日: 半成24年

2日 17日

[セル内の改行は、(Alt+-)+(Enter+-)です。]

自	外 _{语 日}		自己評価	外部評価	Th
ΙΞ	部	項 目	実践状況	実践状況	
T F	1会里	こ基づく運営	2 4224 15 1174		yawa ay ya ay ya ay ay ay ay ay ay ay ay ay
		〇理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理 念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して 実践につなげている	『笑顔と笑顔の橋渡し』という事業所理念に基づいて、笑顔溢れる明るいホーム作りを職員同士心がけ、声をかけ合いながら業務を行っている。	事業所の理念の他にホーム独自の理念を策 定し実践に繋げるための取り組みに意欲を 感じられる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に交 流している	地域の行事(サンサンふれあい交流会など)に利用者と参加したり、職員は自治会の清掃活動・自主防災訓練等継続的に参加している。また、当ホームの行事にも地域の方々に来ていただいている。	地域の保育園、幼稚園の訪問も少しづつ定 着して来ている。地域ボランティアによる定期 的な行事も行われ外部との交流も多くなり地 域との関わりは確実に高まっている。	家族用の資料とは別に地域に向けて ホームの情報を回覧板用に作成し地 域へ積極的な活動を行っている。今後 も継続して頂きたい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の 人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて 活かしている	クリスマス会など大きな行事の際には、地域の方々に 案内を出し、昼食やいろいろな催し物に一緒に参加して いただいた。また回覧用に『さかほぎ便』を別に作成し、 『認知症について』など理解や支援をしていただけるよう に工夫している。また地域の行事には利用者が作成し た作品等を展示し、支援方法等をみていただく機会を 作っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを 行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、運営推進会議を開催し、日々のケアについてや、取り組み状況等について報告し、意見をいただきながらケアの向上に活かしている。	2ヶ月に1度の運営推進会議は他のホームの 参加があり意見交換の場所として重要な役 割を果たしている。	運営推進会議の開催は他施設の出 席も積極的にあり周辺情報の収集の 場として継続を期待したい。
5	(4)	〇市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所 の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝え ながら、協力関係を築くように取り組んでいる	日頃から連絡は密にとっている。事業所連絡会議に毎月参加したり、事業所の運営推進会議には参加していただいたりと情報を共有しながら協力関係を築くように取り組んでいる。	行政とは常に連絡を取り情報の共有化に取り組み良好な関係を築いている。	
6	(5)	〇身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サー ビス指定基準及び指定地域密着型介護予防サー ビス指定基準における禁止の対象となる具体的な 行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて 身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ベッド柵・居室の施錠・玄関の施錠・身体拘束等 の指定基準における禁止の対象となる具体的な 行為を理解し、ケアに取り組んでいる。	身体拘束の施設内研修も行い職員は拘束を しないケアを行っている。ディサービスと玄関 を共有しており行き来は自由にできホーム内 の利用者も明るく、笑顔が多く活き活きと生 活されている。	
7		〇虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	毎月のホーム会議にて、ホーム内研修を行い、事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている。		

自	外	項目	自己評価	外部評価	5
自己	外 部	7.	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		〇権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年 後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要 性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支 援している	ホーム会議にて、日常生活自立支援事業や成年 後見制度について研修を行い、学ぶ機会を持っ た。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や 家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行 い理解・納得を図っている	入居契約や退居時、また契約書の改定の際は、 利用者や家族に不安や疑問点を尋ねながら説明 を行い、理解・納得が図れるように努めている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営 に反映させている	家族が面会に来られた際や、電話連絡があった際など、家族の意見・要望等を伺い、内容を職員間で共有しながら運営に反映できるよう努めている。また家族へのお便りのなかで、職員から家族へ情報の伝達も行っている。	運営推進会議に参加出来る家族には情報を 直接伝えている、又お便りの配布時に情報提 供を図っている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や 提案を聞く機会を設け、反映させている		毎月のホーム内会議の際に意見交換を行い 職員との関係を親密にしている。食事会を行 いコミユニケーションを図っている。	
12		〇就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤 務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがい など、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・ 条件の整備に努めている	職員に自己評価・管理者評価を行ってもらい、職員の個々の努力・実績・やりがいなど、各自が向上心を持って働けるような職場環境の整備に努めている。		
13		〇職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際 と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の 確保や、働きながらトレーニングしていくことを進め ている	ユニットリーダー以外のスタッフにも防火管理者 や実践者研修等、研修の機会を確保している。		
14		〇同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機 会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問 等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく 取り組みをしている	代表者は、他のホームや施設を訪問し、良かったところを取り入れ、サービスの質の向上に努めた。		

自	外		自己評価	外部評価	ш
己	部	項 目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.5	見心と	:信頼に向けた関係づくりと支援			
15		〇初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の 安心を確保するための関係づくりに努めている	入居の際はアセスメントを行い、本人が困っていることや不安なこと・要望等を傾聴し、本人が安心できるような環境・関係づくりに努めた。		
16		〇初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っている こと、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係 づくりに努めている	入居の際はアセスメントを行い、家族が困っていることや不安なこと・要望等を傾聴し、関係づくりに努めた。		
17		〇初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「そ の時」まず必要としている支援を見極め、他のサー ビス利用も含めた対応に努めている	本人と家族がまず必要としている支援を見極め、 医療・サービス等対応できるよう努めた。		
18			職員は、日常生活の中で利用者ができることを見つけ情報を共有し、声かけしながら行っていただけるよう努めている。また一緒に寄り添いながら行うことで、暮らしを共にする者同士の関係を築いてきた。		
19		〇本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、 本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支 えていく関係を築いている	本人と家族の絆を大切に考え、毎月身元引受人 に限らず、他の家族にも手紙を送っている。手書 きにこだわり、写真をできるだけ多くのせ、表情や 様子がわかりやすく伝わるように努めている。		
20	, ,	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所 との関係が途切れないよう、支援に努めている	地元の祭りや行事にできるだけ参加していただき、馴染みの方々との交流ができるよう支援に努めいる。ホームにも来訪されたりと、関係が途切れないよう支援している。	ボランティアに近隣の友人があり定期的に訪問がある地域のイベントへ参加したりと以前よりの関係が続いている。	
21		〇利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような 支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、リビングでの椅子の 配置を考えたり、関わり合い・支え合えるような支 援に努めている。		

自	外		自己評価	外部評価	西
自己	部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の 経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も、病院や特別養護老人ホーム・他のホームに移られた方に会いに行くよう努めている。これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて相談や支援をしていきたいと考えている。		
		人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	•		
23		〇思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている	センター方式を活用しながら、利用者の思いや希望・意向の把握に努めております。「100の気づき」も昨年に引き続き活用している。		センター方式を取り入れ個別ケアに取り組んでいる。更に研修を深め職員の知識の向上に期待したい。
24		境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を活用しながら、利用者一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、また生活環境など本人や家族に伺いながら、把握に努めている。またその情報を職員同士で共有できるようにしている。		
25			毎日、朝・夕に申し送りを行い、ユニットごとに情報を共有できるようにしている。また1日の利用者の心身状態・過ごし方等の把握のために、毎夕方に各ユニットごとで定例会議を行っている。		
26		それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即 した介護計画を作成している	ケアプラン見直しの際、フロアー職員がモニタリングを行い、家族・職員がサービス担当者会議を開き、現状に即した介護計画を作成している。	を作成している。	これまでとは違いケアマネージャが専任となった今後は更に個別性のあるケアプランになって行く事を期待したい。
27		〇個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア日報・介護記録に記入し、職員間で情報を共 有しながら実線や介護計画の見直しに活かして いる。		
28		〇一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者や家族の状況・ニーズに対応して、既存のサービスに捉われることのない、柔軟な支援やサービスに取り組んでいる。管理者がタクティールケアの研修を受け、ケアに取り入れている。		

自	外	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	自己評価	外部評価	西
自己	外 部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		〇地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握 し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな 暮らしを楽しむことができるよう支援している	坂祝町の幼稚園・保育園との交流ができ、ボランティアの定期化が図れた。(彩の会・読み聞かせ・マンドリンボランティア等)		
30		○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得 が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きな がら、適切な医療を受けられるように支援している	みのかかりつけ医等に月2回往診に来ていただ	利用者本位の支援を心がけている、入所前 の医療機関(かかり付け医)の希望者は継続 して往診に来て頂いている馴染みの関係が ある	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気 づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝え て相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を 受けられるように支援している	専任の看護職員を配置し、職員が日常生活の関わりの中でとらえた情報や気付きを看護職員に報告や相談をし、情報を共有できるようにしている。		
32		者との情報交換や相談に努めている。あるいは、 そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを 行っている。	利用者が入院した際には、安心して治療できるようにまたできるだけ早期に退院していただけるように、病院関係者の方々と情報を共有したり、相談したりしながら関係づくりを日々行っている。		
33		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い 段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所 でできることを十分に説明しながら方針を共有し、 地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでい る	ることを十分説明しながら、地域包括支援セン	ホームとしての看取りは考えていないが入院 が必要になる限界まではホームでお世話して いきたいと職員間で話し合っている。現在は 家族の了解も得ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職 員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行 い、実践力を身に付けている	職員は定期的に救命救急の講習を受け実践力を 身に付けている。またホーム会議でも、急変時の 対応などを看護師指導のもと勉強することで、急 変・事故発生時に備えている。		
35		〇災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず 利用者が避難できる方法を全職員が身につけると ともに、地域との協力体制を築いている	職員は年2回(夜間・日中)の消防・避難訓練を行い、利用者が安全に避難できるように方法等身に付けている。又、日中の消防・避難訓練を運営推進会議と同日に設定し、地域の方々・家族・役場の方などにも参加していただいた。	年2回の消防避難訓練は運営推進会議と同 日に開催し地域、家族、市町村の協力もあ	現在は職員・家族中心に訓練を行っ ているが利用者を含めた防災訓練を 行う体制に期待したい。

自	外	項目	自己評価	外部評価	西
己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	(, ,	〇一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを 損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の人格を尊重し、誇りやプライバシーを損 ねない言葉かけや対応をしている。	利用者の言葉かけは利用者本人を尊重し、 大声で呼ぶ等の事は無く物静かに対応している。食事介助、排泄介助時もプライバシー への配慮が感じ取れる。	
37		〇利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自 己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、利用者とできる限り関わりを持ち、利用者一人ひとりの思いや希望を受け止め、 自己決定ができるように働きかけ、支援してい る。		
38		〇日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	いただけるように支援している。		
39		〇身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように 支援している	臨床美術や色カルタなどから利用者とコミュニケーションを図りながら、好きな色などをスタッフが聞き、それを家族に伝え服を購入していただいている。化粧水を毎朝必ずする方やその人らしい身だしなみやおしゃれを楽しめるように支援している。		
40			利用者の希望を取り入れたメニューにしたり、外 食支援も取り入れたりと食事が楽しみになるよう に支援している。また一緒に食事作りの下準備を したり、盛り付け・後片付け等利用者の力を活か しながら行っている。	食事の準備、後片付けは利用者が出来る範囲で行っていた、年々重度化になり職員の手間が増えているが外食支援も積極的に行っている。	
41		を保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応 した大学をしている	一人ひとりに合わせた食事量や食事形態を工夫している。ミキサー食の方は見た目がどうしても悪くなりがちなので、厨房スタッフが盛り付ける際、魚の形にしたりと工夫している。水分摂取量は1000cc以上摂っていただけるよう支援している。		
42			毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアを実施している。 また就寝前には、入れ歯をお預かりし、洗浄剤に て洗浄を行っている。		

自	外	項目	自己評価	外部評価	ш П
自己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43		〇排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとり の力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレで の排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄委員会を毎月実施し、一人ひとりの排泄パターン・力・習慣を活かし理解しながら、できる限りトイレでの排泄ができるように、声かけトイレ誘導し、自立にむけた支援を行っている。	職員は利用者の排泄パターンを理解している、利用者の動きで何を訴えているかが職員には理解できトイレ誘導がスムーズに行われていた。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工 夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取 り組んでいる	毎日1000cc以上水分を摂取していただけるように声かけ・支援させていただいたり、毎夕食前にはカスピ海ヨーグルトを、毎朝食後には牛乳を提供している。		
45		〇入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を 楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決 めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴員会を毎月実施し、一人ひとりの希望やタイミングにできる限り合わせた入浴ができるように取り組んでいる。毎日入浴は行い、個々にそった支援をしている。	浴室は少し傾斜が有るが手摺を利用してスムーズに出入りが出来、利用者の希望に沿った入浴が支援されている。	
46		〇安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じ て、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援 している	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、居室にて休んでいただいたり、テレビを観て過ごしていただいたり、安心して過ごしていただけるよう支援している。		
47		〇服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用 法や用量について理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている	薬の目的や副作用・用法・用量等をスタッフ全員が理解し、服薬の支援に努めている。また変薬があった場合などは申し送りノートを活用したりしながらスタッフ間でしっかり情報共有し、症状の変化などの確認に努めている。		
48		人ひとりの生活歴や力を活かした役割 嗜好品	張り合いや喜びある毎日を過ごせるように、一人 ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽 しみごと、気分転換等の支援をしている。		
49		〇日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節を感じていただけるように、季節の変わり目などに外出支援を取り入れている。秋には紅葉ドライブ、冬には初詣、そして春にはお花見など、家族にも参加していただき行っている。外食支援なども取り入れながら利用者の食べたいものを伺い、実施している。また、週間レク計画を毎週日曜日に作成し、1週間の間に全ての利用者が散歩や各ユニットに行ったりできるように1日20分から30分程度、個別支援や1対1の関わりができるようにと工夫している。	今年の夏の猛暑の間は外出が困難であったが気候が良くなりホームの目指す外出支援の実施がされつつある、調査日当日も1名の方が家族と外出された。	ホームの周囲は気軽に散歩が出来る 環境にある、まずは短時間少人数の 散歩等の個別支援を期待したい。

自	外	項目	自己評価	外部評価	西
自己	部	块	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		〇お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解し ており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所 持したり使えるように支援している	一人ひとりの希望や力に応じて、ご自分でお金を 所持し、趣味の裁縫をするための材料購入のた めに使っていただいたり、お花を買いに行ったりし ている。今は一部なので、今後さらにいろいろな 方に取り組みたい。		
51		〇電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙 のやり取りができるように支援をしている	利用者の希望により、電話をかけていただいた り、手紙を書かれる方もおられる。		
52			生活感・季節感を考え、掲示物等工夫したりしながら、利用者が居心地よく過ごせるような空間を作っている。またフロアーには季節の花を置くようにしたりアロマオイルなどを使用し香りにもこだわっている。	ホームの得意とする臨床美術の作品が通路 に掲示され季節感を表出している又その作品 から利用者が穏やかに過ごされている背景も 伺える。	の活動が利用者の意識の向上に役
53		〇共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利 用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工 夫をしている	共用の空間の中で、ソファーにて気の合う利用者 同士でお茶を飲みながら過ごしたり、歌を唄った り、日記を書いたりと、思い思い過ごせるようにエ 夫している。		
54	, ,	〇居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談 しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし て、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしてい る	居室には、使い慣れたものや馴染みの物・好みの物等を設置し、ご利用者や家族と相談し工夫しながら、居心地よく過ごしていただけるような環境づくりを行っている。	居室は広くゆったりしている自分の作品が ベッドに一面に広げてあったり好みの日常着 をすぐに着用できる様に数枚目の届く範囲に 掛けて有り、心休まる居室となっていた。	
55		〇一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活 が送れるように工夫している	利用者一人ひとりの「できること」「わかること」な どを理解し活かしながら、安心・安全に・できるだ け自立した生活を送っていただけるように工夫し ている。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2191300025	191300025				
法人名	ゲィカル・ケア・サービス東海株式会社					
事業所名	愛の家グループホームさかほぎ 2	愛の家グループホームさかほぎ 2F				
所在地	岐阜県加茂郡坂祝町酒倉1296-	·1				
自己評価作成日	平成23年10月 1日	評価結果市町村受理日	平成24年	2月17日		

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2191300025&SCD=320&PCD=21

【評価機関概要(評価機関記入)】

62 な支援により、安心して暮らせている

(参考項目:28)

評価機関名	特定非営利活動法人 中部社会福祉第三者評価センター
 所在地	岐阜県関市市平賀大知洞566-1
訪問調査日	平成23年10月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

☆昨年から臨床美術を応用

毎月1回彩の会ボランティアの方々に来ていただいている。最初に比べると利用者の作品がとても明るい色使いになり、家族も作品をみてとても喜ばれている。展示方法等も工夫している。

|☆チームケア

利用者・家族・職員・地域で情報共有し、協力し合い行事など成功できた。

春夏秋冬・季節に合わせ4大行事を計画し、家族・地域の方々にも参加していただけた。 ボランティアの方々にも協力していただくことができ、昨年よりボランティアの方々の定期化が図れた。 昨年に引き続き、地域の行事にも参加でき、地域交流が行えた。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

٧.	7. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します						
	項目	↓ 該当する	. り組 み の 成 果 ものに〇印		項目	↓該	取 り 組 み の 成 果 当するものに〇印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向 を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	2. 利3. 利	低全ての利用者の 用者の2/3くらいの 用者の1/3くらいの とんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	0	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面 がある (参考項目:18,38)	O 2. 数 3. た	E日ある Z日に1回程度ある まにある Eとんどない		通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	0	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
8	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	2. 利3. 利	:ぼ全ての利用者が 用者の2/3くらいが 用者の1/3くらいが とんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	0	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
9	利用者は、職員が支援することで生き生きした 表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	2. 利3. 利	ぼ全ての利用者が 用者の2/3くらいが 用者の1/3くらいが とんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	0	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
)	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほ 〇 2. 利 3. 利 4. ほ	:ぼ全ての利用者が 用者の2/3くらいが 用者の1/3くらいが とんどいない		職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	0	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
1	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な く過ごせている (参考項目:30,31)	2. 利 3. 利 4. ほ	:ぼ全ての利用者が 用者の2/3くらいが 用者の1/3くらいが とんどいない		職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	0	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟		ぼ全ての利用者が 用者の2/3くらいが				

2. 利用者の2/3くらいが

3. 利用者の1/3くらいが

4. ほとんどいない

自己評価および外部評価結果

作成日: 平成24年

2日 17日

[セル内の改行は、(Alt+-)+(Enter+-)です。]

白	外	-7 -0	自己評価	外部評価	Ħ
自己	部	項 目	実践状況	実践状況	 次のステップに向けて期待したい内容
		こ基づく運営	AW N/II	天成 (7/1)	SCONN / JOICEN / CANIN CICE FIRE
		○理念の共有と実践			
'		地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理 念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して 実践につなげている	『笑顔と笑顔の橋渡し』という事業所理念に基づいて、笑顔溢れる明るいホーム作りを職員同士心がけ、声をかけ合いながら業務を行っている。		
2	(2)	〇事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に交 流している	地域の行事(サンサンふれあい交流会など)に利用者と参加したり、職員は自治会の清掃活動・自主防災訓練等継続的に参加している。また、当ホームの行事にも地域の方々に来ていただいている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の 人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて 活かしている	クリスマス会など大きな行事の際には、地域の方々に 案内を出し、昼食やいろいろな催し物に一緒に参加して いただいた。また回覧用に『さかほぎ便』を別に作成し、 『認知症について』など理解や支援をしていただけるよう に工夫している。また地域の行事には利用者が作成し た作品等を展示し、支援方法等をみていただく機会を 作っている。		
4		〇運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを 行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、運営推進会議を開催し、日々のケアについてや、取り組み状況等について報告し、意見をいただきながらケアの向上に活かしている。		
		〇市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所 の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝え ながら、協力関係を築くように取り組んでいる	日頃から連絡は密にとっている。事業所連絡会議に毎月参加したり、事業所の運営推進会議には参加していただいたりと情報を共有しながら協力関係を築くように取り組んでいる。		
6	(5)	〇身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サー ビス指定基準及び指定地域密着型介護予防サー ビス指定基準における禁止の対象となる具体的な 行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて 身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ベッド柵・居室の施錠・玄関の施錠・身体拘束等 の指定基準における禁止の対象となる具体的な 行為を理解し、ケアに取り組んでいる。		
7		〇虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	毎月のホーム会議にて、ホーム内研修を行い、事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている。		

自	外	7E D	自己評価	外部評価	ш
自己	部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		〇権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年 後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要 性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支 援している	ホーム会議にて、日常生活自立支援事業や成年 後見制度について研修を行い、学ぶ機会を持っ た。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や 家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行 い理解・納得を図っている	入居契約や退居時、また契約書の改定の際は、 利用者や家族に不安や疑問点を尋ねながら説明 を行い、理解・納得が図れるように努めている。		
10	(6)	〇運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営 に反映させている	家族が面会に来られた際や、電話連絡があった際など、家族の意見・要望等を伺い、内容を職員間で共有しながら運営に反映できるよう努めている。また家族へのお便りのなかで、職員から家族へ情報の伝達も行っている。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や 提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のホーム会議にて、職員の意見・提案を聞く 機会を設けている。そのほかにも食事会などにて 親睦を深めながら、運営に反映させている。		
12		〇就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤 務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがい など、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・ 条件の整備に努めている	職員に自己評価・管理者評価を行ってもらい、職員の個々の努力・実績・やりがいなど、各自が向上心を持って働けるような職場環境の整備に努めている。		
13		〇職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際 と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の 確保や、働きながらトレーニングしていくことを進め ている	ユニットリーダー以外のスタッフにも防火管理者 や実践者研修等、研修の機会を確保している。		
14		〇同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機 会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問 等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく 取り組みをしている	代表者は、他のホームや施設を訪問し、良かったところを取り入れ、サービスの質の向上に努めた。		

自	外	D	自己評価	外部評価	т
己	部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II .5		:信頼に向けた関係づくりと支援			
15		〇初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の 安心を確保するための関係づくりに努めている	入居の際はアセスメントを行い、本人が困っていることや不安なこと・要望等を傾聴し、本人が安心できるような環境・関係づくりに努めた。		
16		〇初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っている こと、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係 づくりに努めている	入居の際はアセスメントを行い、家族が困っていることや不安なこと・要望等を傾聴し、関係づくりに努めた。		
17		〇初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「そ の時」まず必要としている支援を見極め、他のサー ビス利用も含めた対応に努めている	本人と家族がまず必要としている支援を見極め、 医療・サービス等対応できるよう努めた。		
18			職員は、日常生活の中で利用者ができることを見つけ情報を共有し、声かけしながら行っていただけるよう努めている。また一緒に寄り添いながら行うことで、暮らしを共にする者同士の関係を築いてきた。		
19		〇本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、 本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支 えていく関係を築いている	本人と家族の絆を大切に考え、毎月身元引受人に限らず、他の家族にも手紙を送っている。手書きにこだわり、写真をできるだけ多くのせ、表情や様子がわかりやすく伝わるように努めている。		
20			地元の祭りや行事にできるだけ参加していただき、馴染みの方々との交流ができるよう支援に努めいる。ホームにも来訪されたりと、関係が途切れないよう支援している。		
21		〇利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような 支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、リビングでの椅子の 配置を考えたり、関わり合い・支え合えるような支 援に努めている。		

自	外		自己評価	外部評価	5
自己	部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の 経過をフォローし、相談や支援に努めている	る。これまでの関係性を大切にしなから、必要に 応じて相談や支援をしていきたいと考えている。		
		人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	•	〇思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている	センター方式を活用しながら、利用者の思いや希望・意向の把握に努めております。「100の気づき」も昨年に引き続き活用している。		
24		〇これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を活用しながら、利用者一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、また生活環境など本人や家族に伺いながら、把握に努めている。またその情報を職員同士で共有できるようにしている。		
25		〇暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	毎日、朝・夕に申し送りを行い、ユニットごとに情報を共有できるようにしている。また1日の利用者の心身状態・過ごし方等の把握のために、毎夕方に各ユニットごとで定例会議を行っている。		
26		〇チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方 について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、 それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即 した介護計画を作成している	ケアプラン見直しの際、フロア一職員がモニタリングを行い、家族・職員がサービス担当者会議を開き、現状に即した介護計画を作成している。		
27		〇個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア日報・介護記録に記入し、職員間で情報を共 有しながら実線や介護計画の見直しに活かして いる。		
28		〇一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者や家族の状況・ニーズに対応して、既存の サービスに捉われることのない、柔軟な支援や サービスに取り組んでいる。管理者がタクティー ルケアの研修を受け、ケアに取り入れている。		

自	外	項目	自己評価	外部評価	ш
自己	外 部	``	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		〇地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握 し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな 暮らしを楽しむことができるよう支援している	坂祝町の幼稚園・保育園との交流ができ、ボランティアの定期化が図れた。(彩の会・読み聞かせ・マンドリンボランティア等)		
30		○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得 が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きな がら、適切な医療を受けられるように支援している	みのかかりつけ医等に月2回往診に来ていただ		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気 づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝え て相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を 受けられるように支援している	専任の看護職員を配置し、職員が日常生活の関わりの中でとらえた情報や気付きを看護職員に報告や相談をし、情報を共有できるようにしている。		
32		そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	に、病院関係者の方々と情報を共有したり、相談		
33		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い 段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所 でできることを十分に説明しながら方針を共有し、 地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでい る	利用者が重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階で家族と話し合い、事業所でできることを十分説明しながら、地域包括支援センター等とも方針を共有してチームで支援に取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職 員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行 い、実践力を身に付けている	職員は定期的に救命救急の講習を受け実践力を 身に付けている。またホーム会議でも、急変時の 対応などを看護師指導のもと勉強することで、急 変・事故発生時に備えている。		
35		〇災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず 利用者が避難できる方法を全職員が身につけると ともに、地域との協力体制を築いている	職員は年2回(夜間・日中)の消防・避難訓練を行い、利用者が安全に避難できるように方法等身に付けている。又、日中の消防・避難訓練を運営推進会議と同日に設定し、地域の方々・家族・役場の方などにも参加していただいた。		

自	外	項目	自己評価	外部評価	西
己	部	惧 日 	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	(, ,	〇一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを 損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の人格を尊重し、誇りやプライバシーを損 ねない言葉かけや対応をしている。		
37		〇利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自 己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、利用者とできる限り関わりを持ち、利用者一人ひとりの思いや希望を受け止め、 自己決定ができるように働きかけ、支援してい る。		
38		〇日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にし、一日をどう過ごしたいか、希望を伺いながら、その人らしく生活していただけるように支援している。		
39		〇身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように 支援している	臨床美術や色カルタなどから利用者とコミュニケーションを図りながら、好きな色などをスタッフが聞き、それを家族に伝え服を購入していただいている。化粧水を毎朝必ずする方やその人らしい身だしなみやおしゃれを楽しめるように支援している。		
40			利用者の希望を取り入れたメニューにしたり、外 食支援も取り入れたりと食事が楽しみになるよう に支援している。また一緒に食事作りの下準備を したり、盛り付け・後片付け等利用者の力を活か しながら行っている。		
41		〇栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応 じた支援をしている	一人ひとりに合わせた食事量や食事形態を工夫している。ミキサー食の方は見た目がどうしても悪くなりがちなので、厨房スタッフが盛り付ける際、魚の形にしたりと工夫している。水分摂取量は1000cc以上摂っていただけるよう支援している。		
42		〇口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一 人ひとりの口腔状態や本人のカに応じた口腔ケア をしている	毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアを実施している。 また就寝前には、入れ歯をお預かりし、洗浄剤にて洗浄を行っている。		

自	外	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	自己評価	外部評価	5
自己	外 部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43		〇排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとり の力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレで の排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄委員会を毎月実施し、一人ひとりの排泄パターン・カ・習慣を活かし理解しながら、できる限りトイレでの排泄ができるように、声かけトイレ誘導し、自立にむけた支援を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工 夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取 り組んでいる	毎日1000cc以上水分を摂取していただけるように声かけ・支援させていただいたり、毎夕食前にはカスピ海ヨーグルトを、毎朝食後には牛乳を提供している。		
45		〇入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を 楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決 めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴員会を毎月実施し、一人ひとりの希望やタイミングにできる限り合わせた入浴ができるように取り組んでいる。毎日入浴は行い、個々にそった支援をしている。		
46		〇安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じ て、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援 している	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、居室にて休んでいただいたり、テレビを観て過ごしていただいたり、安心して過ごしていただけるよう支援している。		
47		〇服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用 法や用量について理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている	薬の目的や副作用・用法・用量等をスタッフ全員が理解し、服薬の支援に努めている。また変薬があった場合などは申し送りノートを活用したりしながらスタッフ間でしっかり情報共有し、症状の変化などの確認に努めている。		
48		人ひとりの生活歴や力を活かした役割 嗜好品	張り合いや喜びある毎日を過ごせるように、一人 ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽 しみごと、気分転換等の支援をしている。		
49		〇日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節を感じていただけるように、季節の変わり目などに外出支援を取り入れている。秋には紅葉ドライブ、冬には初詣、そして春にはお花見など、家族にも参加していただき行っている。外食支援なども取り入れながら利用者の食べたいものを伺い、実施している。また、週間レク計画を毎週日曜日に作成し、1週間の間に全ての利用者が散歩や各ユニットに行ったりできるように1日20分から30分程度、個別支援や1対1の関わりができるようにと工夫している。		

自己	外	項目	自己評価	外部評価	ш
己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		〇お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解し ており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所 持したり使えるように支援している	一人ひとりの希望や力に応じて、ご自分でお金を 所持し、趣味の裁縫をするための材料購入のた めに使っていただいたり、お花を買いに行ったりし ている。今は一部なので、今後さらにいろいろな 方に取り組みたい。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙 のやり取りができるように支援をしている	利用者の希望により、電話をかけていただいた り、手紙を書かれる方もおられる。		
52		〇居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴 室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をま ねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がな いように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居 心地よく過ごせるような工夫をしている	生活感・季節感を考え、掲示物等工夫したりしながら、利用者が居心地よく過ごせるような空間を作っている。またフロアーには季節の花を置くようにしたりアロマオイルなどを使用し香りにもこだわっている。		
53		〇共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利 用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工 夫をしている	共用の空間の中で、ソファーにて気の合う利用者 同士でお茶を飲みながら過ごしたり、歌を唄った り、日記を書いたりと、思い思い過ごせるようにエ 夫している。		
54	, ,	〇居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談 しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし て、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしてい る	居室には、使い慣れたものや馴染みの物・好みの物等を設置し、ご利用者や家族と相談し工夫しながら、居心地よく過ごしていただけるような環境づくりを行っている。		
55		〇一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活 が送れるように工夫している	利用者一人ひとりの「できること」「わかること」などを理解し活かしながら、安心・安全に・できるだけ自立した生活を送っていただけるように工夫している。		

(別紙4(2))

事業所名 愛の家グループホームさかほぎ

目標達成計画 作成日: 平成24年 2月 17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 目標達成 優先 項目 現状における問題点、課題 目標 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 に要する期 順位 番号 間 研修の機会が少ない 職員向けの研修の機会を増やし、 ホーム内研修の充実 外部への研修の機会を増やす さらなる知識の向上を目指す 23 3ヶ月 消防訓練の家族参加がない 消防訓練の様子をご家族様にも見ていただ 年2回の訓練の日にちを事前にお伝えする 6ヶ月 35 3 ヶ月 ヶ月 4 5 ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。